

●前年度の取組及び本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○音階練習や旋律の聴音などは毎時間の器楽学習の中で継続して取組むことができている。 ○音楽集会や各種行事での発表の機会を通して表現する楽しさを味わうことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音の重なり(低音や和音)を感じ取って演奏すること。 ○楽器の音色の違いを感じ取って聴くこと。 ○音符や記号の理解と階名を正しく読むこと。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に歌う。曲に合わせて体を動かしたり、歌あそびなどが仲良くできたりする。 ○楽器に興味をもち、積極的に音を出そうとする。 ○演奏時に曲の始めや終わりがそろわないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「歌は友だち」を活用して、様々な歌に親しませる。体を動かす歌あそびを多く取り入れる。 ○正しいメロディーや、何拍伸ばすかなどを繰り返し練習させ、覚えさせる。 ○全員で演奏するよさを十分に味わわせるとともに、小グループで演奏したり、歌あそびを楽しむ機会を増やす。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ○リズムに合わせて手拍子をしながら楽しく歌うことができる。 ○音をよく聴いて歌ったり楽器を演奏したりすることが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体を使って音楽を感じたり表現したりすることを通して、楽しみながら音楽に親しみ、表現や鑑賞の力を育てる。 ○聴奏を行い、音を意識的に聴くことができるようとする。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーのタンギングの習得に苦労している児童がいる。 ○読譜(階名)の習得が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返しの練習を大切にするとともに、短時間の個別の指導を取り入れる。 ○階名をカードでゲーム的に読む練習を行う。
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ○声量が豊かで元気にうたっている。 ○リコーダーに技能の差がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○曲に合わせた声の響きを考えて歌う。 ○音階練習や短いフレーズの小テストなどで基礎的な技能の定着を図る。
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な発声の定着や、音の重なりの聴取が課題となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○まず、美しい齊唱を意識し、息の支えなど基本的な技能を習得するための基礎練習を取り入れる。楽器の音色や和音の響きを聴く活動を多く取り入れる。
6年生	<ul style="list-style-type: none"> ○変声期を迎えて声が出しにくい児童もいる。 ○自分で振り返ったり改善したりしていくところが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ○変声期について全員が理解し温かく見守るとともに、器楽表現と歌唱表現を関連付けて表現への意欲を向上させる。 ○ふりかえりやめあてを記入する学習カードを活用したり演奏を録音し振り返りに活用する。

●学校全体で取り組む内容

○音楽集会を通して、表現する楽しさや、音楽のよさを感じ取ることができるようにするとともに、表現鑑賞の活動を通して音楽の基礎的な技能の向上のための技能のポイントを押さえる。
 ○校内放送を活用し児童の演奏を発表する機会を増やす。